

平成19年度

川崎市宮前スポーツセンターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1)指定管理者名	財団法人 川崎市生涯学習財団 (川崎市中原区今井南町514番地1)
(2)指定期間	平成18年4月1日から平成23年3月31日まで
(3)業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設全般の管理運営に関する業務</li> <li>・施設設備の利用提供に伴う業務</li> <li>・建物及び附属設備の維持保全に関する業務</li> <li>・生涯スポーツ振興事業の実施等に関する業務</li> <li>・スポーツ行政等への協力業務</li> <li>・指定管理に付随する業務</li> <li>・その他施設の管理運営に関する業務</li> </ul>

2 管理運営に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
1 総合的な運営状況		
(1)基本的な運営方針	<p>宮前区民の待望の施設として幼児から高齢者まで地域住民が気軽にスポーツを楽しめる地区スポーツセンターとして、平成18年4月に開館してから生涯スポーツを通じてのまちづくりを目指すとともに、市民の健康維持・増進の支援ができるよう事業に取り組んだ。</p> <p>地区スポーツセンターの基本的な役割であるスポーツ施設設備の提供・スポーツ教室・研修会の開催・体力についての相談(体力測定・相談講習会)・スポーツデー等を通してスポーツの普及振興に努めてきた。</p> <p>地域に設置された公の施設である地域スポーツセンターとして利用者の意見を取り入れる事を目的に「館長への手紙」という「めやす箱」を設置した。施設面の充実や事業等の工夫等日々の運営に反映することができた。</p> <p>地域団体の代表者による運営連絡会議を7月、3月と2回開催し、運営や教室事業等についての情報提供と地域からの意見等の収集の場とした。また、町内会役員会等への訪問や情報提供を行った。</p>	<p>公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすよう努めている。</p> <p>新規施設であり利用実績データの無いなかで利用者ニーズの把握に努め運営への反映に努めている点も評価できる。</p> <p>地域関係団体の代表者を構成員とする運営連絡協議会の実施、町内会役員会等への訪問や情報提供など精力的な活動についても高く評価する。</p> <p>今後もスポーツ振興の区の拠点として、今日的諸課題や行政課題の解決、施設・機能の一層の有効活用に留意し管理運営・事業展開を図ること。</p>
(2)維持管理等の再委託	<p>維持管理業務を一括して実績のある事業者者に再委託することにより、効率化と経費縮減を図った。</p> <p>警備は緊急時の対応を考慮し、近隣地区に営業所を有する警備会社を基本に入札による業者選定を行った。</p> <p>受託事業者との調整を図り、清掃業務等の従事者については地域雇用を推進し、委託事業者との密な連絡体制をとり、適切な管理に努めた。</p>	<p>維持管理業務の集約発注を行い効率化と経費縮減に努め、実績ある事業者を登用するとともに緊急時を考慮し安全管理体制を確立している。</p> <p>効果的・効率的に事業実施していると評価する。</p> <p>再委託業務について今後も監督責任を果たし、適切な施設管理に努めること。</p>
(3)広報活動	<p>広報誌については、年間12回(昨年度は6回)に発刊し、町内会の協力を得て地域の回覧板等にも折込することができた。</p> <p>インターネットホームページによる広報では、掲載情報が施設概要や事業広報であったため、更新の頻度が少なく月に1回程度の更新となった。「館長への手紙」については随時更新を行った。</p> <p>その他の広報については、地域情報誌の事業者の協力を得て施設情報やスポーツ情報の掲載ができた。</p>	<p>町内会や各種情報誌等の協力を得て広報活動を行うなど積極的な取り組みがなされている。</p> <p>利用者等とのキャッチボールを図った「館長への手紙」のホームページへの掲載も高く評価する。</p> <p>主催事業等の広報だけでなく、川崎市におけるスポーツ情報を掲載するなど、地域スポーツ活動の活性化や啓発にも努めること。</p>

2 管理業務の実施状況

<p>①休館日・開館時間</p>	<p>・休館日:年間 18日間          ・開館時間:9:00から21:30まで          21:30までの開館については、就労者等の利用者から大きく評価を得ている。地域への影響については駐車場でアイドリング禁止や館外で利用者が留まり話声等による迷惑をかけないように注意を払っている。</p>	<p>利用者へのサービスの向上と地域への影響について充分に考慮し取組みがなされていると評価する。          今後も近隣への配慮に充分留意し、効率的・効果的な管理運営への取組みに努めること。</p>																																									
<p>②利用料金</p>	<p>①条例と同額にて設定          専用利用料金(平日アマチュアスポーツ入場料無料の場合)</p> <table border="1" data-bbox="427 566 991 707"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>夜間</th> <th>全日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大体育室</td> <td>6,300円</td> <td>9,300円</td> <td>12,800円</td> <td>28,400円</td> </tr> <tr> <td>小体育室</td> <td>2,500円</td> <td>3,700円</td> <td>5,100円</td> <td>11,300円</td> </tr> <tr> <td>第1研修室</td> <td>1,600円</td> <td>1,900円</td> <td>2,800円</td> <td>6,300円</td> </tr> <tr> <td>第2研修室</td> <td>1,600円</td> <td>1,900円</td> <td>2,800円</td> <td>6,300円</td> </tr> </tbody> </table> <p>個人利用料金(カッコ内:6歳以上20歳未満の者20歳以上の学生)</p> <table border="1" data-bbox="427 801 919 931"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大体育室</td> <td>200円</td> <td>200円</td> <td>200円</td> </tr> <tr> <td>小体育室</td> <td>(100円)</td> <td>(100円)</td> <td>(100円)</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②条例外の割引サービスの設定          ・個人利用回数券の設定          6枚綴り(5枚分の料金)の回数券を設定している。</p>	種別	午前	午後	夜間	全日	大体育室	6,300円	9,300円	12,800円	28,400円	小体育室	2,500円	3,700円	5,100円	11,300円	第1研修室	1,600円	1,900円	2,800円	6,300円	第2研修室	1,600円	1,900円	2,800円	6,300円	種別	午前	午後	夜間	大体育室	200円	200円	200円	小体育室	(100円)	(100円)	(100円)	トレーニング室				<p>条例に基づいた利用料金が設定されている。          割引率と利便性を向上させた個人利用回数券の設定は利用サービスの向上が図られていると評価する。          公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上に努めること。</p>
種別	午前	午後	夜間	全日																																							
大体育室	6,300円	9,300円	12,800円	28,400円																																							
小体育室	2,500円	3,700円	5,100円	11,300円																																							
第1研修室	1,600円	1,900円	2,800円	6,300円																																							
第2研修室	1,600円	1,900円	2,800円	6,300円																																							
種別	午前	午後	夜間																																								
大体育室	200円	200円	200円																																								
小体育室	(100円)	(100円)	(100円)																																								
トレーニング室																																											
<p>③諸施設の活用と提供サービス</p>	<p>①情報コーナーを設置          施設内のエントランスと共有スペースに情報コーナーを設置し利用者等による情報の発信や収集に活用を図った。利用者から概ね好評をいただいている。今後も情報コーナーの充実を図る。          ②活動展示コーナーを設置          通路や共有部分の壁等に地域の大会や利用団体の活動写真やスポーツ振興に関係するパネル等を展示している。また表彰状等の展示も行っているが大変好評であり展示物を見るためにいままで来館していなかった市民が訪れるようになるなど大きな成果を得ている。</p>	<p>施設内の共有スペースの有効活用により情報提供や活動展示を精力的に行い、スポーツをとおした市民の集う場としての事業展開を図っており評価する。</p>																																									
<p>④個人情報保護や情報公開の取扱</p>	<p>個人情報の保護は重要な社会的な責務であると認識し、個人情報に関する法律を遵守するとともに、「財団法人川崎市生涯学習財団個人情報保護方針」及び「財団法人川崎市生涯学習財団個人情報保護管理要綱」に基づき適正な保護を行った。          研修を行いスタッフへの徹底を図るとともに情報管理責任者を選任し定期的に点検を行なった。スタッフへの徹底、個人情報保護のシステムを明確にしたため、取扱いの適正化が図れた。          また、情報公開を前提に各種資料の整理・保管を行い、迅速に対応できるよう努めたことにより、情報管理の面でも適正化が図れた。</p>	<p>独自に個人情報保護に関する規定を設け適正な管理に努めている。また、情報公開についても迅速な対応に留意しており評価できる。          個人情報の適正な取扱・管理について今後も徹底すること。</p>																																									

⑤利用促進	<p>高齢者プログラムと乳幼児対象事業の拡充を図り、高齢者プログラムとして体力相談講習会を実施し、高齢者の健康の保持・増進を図るとともに、気軽に参加できるよう個人利用にもプログラムを新規導入した。また、乳幼児や低年齢向けの特別開放を実施した。</p> <p>高齢者プログラムと乳幼児対象事業については、多くの参加者を得ることができ、スポーツを身近に体験する機会提供となった。今後もニーズに対応した事業をすすめる。</p>	<p>乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに対し事業展開を図り、精力的な利用促進を行なっていると高く評価する。</p> <p>今後も利用促進に向けた事業展開を図るよう努めること。</p>
⑥人員配置	<p>総括責任者及び副責任者にはスポーツ施設の運営又はスポーツ教室等の業務の経験を有し、公共の福祉と健康づくりに見識を有するとともに施設全体の経営能力を備えるものを配置した。</p> <p>指定管理2年目であり、多種多様な利用相談や利用に対して検討を要する事例もあったが迅速且つ適切に対応できた。今後も引き続き経験を生かしながら速やかな対応を講じていく。</p> <p>配置に際し、専門知識や経験を有する者を配置するとともに、業務情報等の共有や連絡体制を明確したことにより効率的な運営ができた。</p> <p>総括責任者1名、副責任者2名、管理担当主任者1名、管理担当2名、事業担当主任者1名、事業担当2名</p>	<p>適正な人員配置を行なっている。</p> <p>施設運営時の人員体制についても効果的及び効率的な運営に努めている。</p> <p>今後もスポーツ振興という特性を有する施設の管理運営であることに留意し人員配置を行うこと。</p>
⑦人材育成	<p>快適かつ安全な管理運営には人的資源が第一と考え、利用者の要求を満たし満足度を高めるために、全職員を対象に研修を実施した。</p> <p>今年度は「職員の利用者に対する心構え」「AEDの設置の目的と利用上の注意」「個人情報管理の大切さと自覚について」をテーマとした研修を実施した。</p>	<p>スポーツ施設の管理運営に必要な人材育成に取り組んでいる。</p> <p>今後も管理運営従事者に対し資質向上と責任意識の向上を図るよう努めること。</p>
⑧危機管理	<p>危機管理の基本計画として「宮前スポーツセンター防災計画」を策定した。緊急時の対応について計画を定め、対応のマニュアル等を策定したことにより、何時、どのスタッフでも適切な対応ができる体制を構築した。また、訓練を実施し、迅速な対応、スタッフの意識向上に大きな成果を得た。</p> <p>◆火災訓練実施(9月1日) ◆災害時避難誘導訓練実施(9月1日)</p>	<p>緊急時に備えた防災計画の策定や対応マニュアルの作成など危機管理に努めている。</p> <p>今後も日常の防災管理の徹底を図り、施設の安全管理に努めるとともに、緊急時に備えた体制の整備、スタッフの研修・訓練に努めること。</p>

### 3 事業実施状況

<p>①施設利用提供業務</p> <p>公共の利益のために常に利用者の立場に立って誰もが公平に利用できるよう対応した。体育器具の日常点検等安全に配慮し、利用者に満足してもらえるよう設備の整備を行った。</p> <p>事前打合せを実施し効率的な施設の利用と電子媒体を活用したことで利用者の利便性の向上を図れた。来館打合せを義務化せず、様式や資料等の受け渡しも、FAXやメール、郵送等を可能な限り実施した。「利用の手引」のほか利用者向け資料を各種整備し提供した。</p> <p>利用者数(H19年度)</p> <table border="1" data-bbox="418 1787 1013 1960"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td></td></tr> <tr> <td>6,912</td><td>9,065</td><td>9,346</td><td>9,531</td><td>7,285</td><td>8,809</td><td></td></tr> <tr> <td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td>合計</td></tr> <tr> <td>8,796</td><td>9,344</td><td>7,329</td><td>8,652</td><td>11,600</td><td>10,351</td><td>107,020</td></tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月		6,912	9,065	9,346	9,531	7,285	8,809		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	8,796	9,344	7,329	8,652	11,600	10,351	107,020	<p>利便性の向上に力を入れており評価する。</p> <p>今後も施設利用提供に際しては公平で平等な利用提供に留意し、利用環境の維持・向上を図り、利用者の満足度を高めるよう努めること。</p>
4月	5月	6月	7月	8月	9月																								
6,912	9,065	9,346	9,531	7,285	8,809																								
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																							
8,796	9,344	7,329	8,652	11,600	10,351	107,020																							

②個人開放事業  
(スポーツデー)

利用統計やアンケート、他施設の状況把握、地域ニーズの調査等を実施し、種目や時間帯の設定した。また、年間を4期に分け、期毎に常に見直しを図った。この事により地域住民の要望にこたえることができた。  
 スポーツデーをより多く計画・実施したことにより、幅広い年齢層の参加者が増え個々の健康づくりや体力増進を図ることができた。  
 施設の空き時間を有効活用し、当初計画以上のプログラムを実施したことにより、異なる多くのニーズに対応することができた。

曜日等	内 容	参加数
毎週月・金曜	卓球	7,895 名
毎週火曜	リフレッシュ体操 ソフトリフレッシュ体操	5,402 名 660 名
毎週水曜	太極拳 バドミントン	2,516 名 2,344 名
毎週木曜	エアロビクス バスケットボール	2,331 名 1,969 名
毎週土曜	シェイプアップエアロ	1,247 名
毎日	トレーニング室	27,822 名

ニーズ調査や他施設の状況把握に努め、期毎の見直しや施設の空き時間の有効活用を行うなど精力的な実施がなされていると評価する。  
 今後も多くのニーズに対応できるよう努め、特に社会的課題や地域的課題等にも留意すること。

③スポーツ教室  
事業や地域における生涯スポーツ振興の推進に必要な各種事業

利用統計やアンケートの実施、他施設の状況把握、地域ニーズの調査等を実施し、種目や時間帯の設定を行った。  
 従来の年間3期制を4期制とすることにより、多くの方々が参加できる教室事業となるよう計画・実施した。  
 また、学校施設の有効活用を図ることを目的として、併設された犬蔵中学校プールにてプール開放事業を実施した。  
 大学連携事業の実施に向け、聖マリアンナ大学スポーツ医学講座との調整を図り、平成20年度の事業実施に向け準備を進めている。

スポーツ教室(延べ人数)

実施	対 象	内 容	参加者数
年間3期	15歳以上	卓球	3,560名
年間4期	15歳以上	パワーヨガ	1,291名
年間1期	15歳以上	ストレッチ・エアロビ	58名
年間2期	小学3・4年生	ジュニアフットサル	817名
年間4期	15歳以上	バドミントン	1847名
年間1期	15歳以上	ソフトリフレ	100名
年間4期	15歳以上	ピラティス	1847名
年間3期	2・3・4歳児	親子スポーツ教室	2,875名

スポーツ振興事業

事業名	期日	参加数
健康体力相談	月・木・土曜日	150名
高齢者・健康体操教室	5/10～7/5	20名
プール開放事業	7/24～8/5	108名
川崎健康都市宣言事業 (3033運動研修会)	7月22日	12名
体育の日 記念事業	10月8日	210名

ニーズ調査や他施設の状況把握に努め、学校施設や施設の空き時間の有効活用を図って教室事業が行われており、精力的な取り組みがなされていると評価する。  
 また、地域の高等教育機関である大学との連携事業にも着手しており、精力的な取り組みが成されていると高く評価する。  
 今後も多くのニーズに対応できるよう努め、特に社会的課題や地域的課題等にも留意すること。  
 また、教室終了後の活動支援等についても検討すること。

④スポーツ情報の提供及び相談業務	<p>①スポーツ情報のデータベース化 事業担当員等がデータ収集・整理したりリアルタイムの情報をホームページや館内情報コーナーで発信した。</p> <p>②専門員によるアドバイス スポーツプログラマー等の資格を有する専門員(事業担当員と兼務)を配置し、各種相談に対応した。 また、他のスタッフであっても対応できるよう研修を行った。対応範囲を超えている場合においては、適宜、対応できる組織等を紹介できるよう各種窓口等の情報を収集整理した。</p>	<p>ホームページによる情報提供や専門員による相談対応、研修の充実によるスタッフ全員の相談能力の向上など精力的な事業展開が図られており高く評価する。 今後も相談業務の充実と、スポーツ活動の拠点として、情報収集や相談ができる施設となるよう努めること。</p>
⑤指導者・ボランティアの育成	<p>指導者ボランティアではないが、社会教育実習生やインターンシップ等の受入を積極的にに行い、また中学校の職業体験等も受入、次代を担う人材育成を行った。 指導者育成研修、ボランティア養成講座、保育ボランティア養成研修事業等については実施にいたらなかったが、関係機関や関係者と連携しながら実施に向けた検討をすすめている。</p>	<p>社会教育施設として次代を担う地域人材の育成に努めている。 指導者育成やボランティア養成などについて、調整・検討を行い実施に向けて努めること。</p>
⑥自主事業に関する事項	<p>近隣に売店や自動販売機がないため、清涼飲料水の自動販売機を3台設置した。</p>	<p>利用者の利便性の向上につながる自主事業の実施がなされている。</p>

#### 4 収支状況

①年間収支	<p>平成19年度 決算額 (単位 千円)</p> <table border="1" data-bbox="434 1111 817 1335"> <tr> <td rowspan="4">収入</td> <td>指定管理委託費</td> <td>49,900</td> </tr> <tr> <td>利用料金収入</td> <td>19,060</td> </tr> <tr> <td>事業収入他</td> <td>6,531</td> </tr> <tr> <td>収入計</td> <td>75,491</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">支出</td> <td>管理運営費</td> <td>65,215</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>4,424</td> </tr> <tr> <td>支出計</td> <td>69,639</td> </tr> <tr> <td colspan="2">収支差額</td> <td>5,852</td> </tr> </table>	収入	指定管理委託費	49,900	利用料金収入	19,060	事業収入他	6,531	収入計	75,491	支出	管理運営費	65,215	事業費	4,424	支出計	69,639	収支差額		5,852	<p>積極的なスポーツ振興事業の拡充を行いながらも支出超過することなく安定した管理運営を行っている。 今後も利用者サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な運営に努め、安定した管理運営を継続するよう努めること。</p>
収入	指定管理委託費		49,900																		
	利用料金収入		19,060																		
	事業収入他		6,531																		
	収入計	75,491																			
支出	管理運営費	65,215																			
	事業費	4,424																			
	支出計	69,639																			
収支差額		5,852																			

#### 3 管理運営に対する全体的な評価

公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすよう努めている。  
地域のスポーツ振興を担う施設として、スポーツ活動の場を提供するとともに、プログラムを含めた参加機会の提供、地域スポーツ活動の支援や意識啓発等に積極的に事業展開を図っている。  
地域の町内会や関係諸団体、学校等との関係づくりに重点を置き、協力・連携体制の構築に積極的に努め、地域に根ざしたスポーツセンターとして事業展開を図っており高く評価する。

#### 4 来年度の管理運営に対する指導事項等

今後も、幼児から高齢者まで市民誰もが地域で気軽にスポーツを楽しめるスポーツの拠点として、生涯スポーツを通じてのまちづくりを目指すとともに、市民の健康・体力の維持・増進やスポーツ活動の推進に努め、生涯スポーツの振興を図るよう努めること。  
また、公平で平等な利用を確保しつつ、経済効果にも留意し、公共性と効率性との両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営による経費節減に努めること。  
ミドルエイジに対する取り組みや多様化するライフスタイルについての検討・検証や教室終了後の活動支援等についての検討、指導者育成やボランティア養成の実施に向けた調整・検討など、上記の「評価及び指導」欄に記した指導事項に留意し管理運営を行うとともに、総合型地域スポーツクラブの育成・支援、地域との連携によるスポーツ振興事業のほか、地域の活性化、高齢化対応、子育て支援、障害者スポーツ振興、健康都市づくりなどの行政課題の解決にも留意し、事業展開を図ること。